

OMC事務局 〒565 豊中市上新田 4-16-1-33 合原一夫 TEL06-833-9227
広報編集局 〒573 枚方市三栗 1-18-20 前田茂夫 TEL0720-50-5781

平成8年3月(1996年) No. 363

新しい会場で新たな門出

平成8年2月24日、OMC再出発の記念すべき例会であった。今までのホテル・アヴィーナ大阪より、阿倍野市民学習センターへ会場を移し、例会日も木曜の夜から第4土曜日と元に戻し、会員諸氏の集まりやすい曜日に変更された。この結果、以前会員であった山形、今井、田中の三氏が復帰されても元気な姿を見せられたことは、よろこばしい限りであった。会場も申し分なく、20名定員の会場では12~3名の集まりでも何やら満員盛況?の観さえしてくる。この上はあと数名増やして充実を図るとともに、例会作品も7~8本は上映しじっくりと作品について語りあう時間をとりたいものである。そしてOMCらしい良い作品を集めて公開映写会へとつなげていけばと考えるものである。新会場の近くは場所柄、食堂あり、喫茶店あり、呑み屋ありで、2次会の会場にはコト欠かないようである。例会が待ち遠しい位の楽しい例会に育って欲しいと思う。

(合原一夫記)

★公開映写会は10月18日(金)と決定

OMCと関西シネクラブとの合同公開映写会は10月18日(金)18時より朝日生命ホールで例年通り開催することが、このほど世話役会で決定された。会員諸氏は作品制作の方をよろしく(制作企画の点でお悩みの方は相談に乗りますので、遠慮なく声をかけて下さい。合原)

3月例会のお知らせ

3月例会は今月に限り、30日第5土曜日(通常は第4土曜日)18時開会。阿倍野市民学習センターにて。月1回の例会です、元気なお顔を見せてください。2次回も楽しい例会へ全員集合。
作品の方もよろしく

★2月例会レポート

2月例会は新しい会場での初めての例会であったが、会場も設備も申し分なく落ち着いた雰囲気のもとで行われた。田中さんは先月から出席されているが、山形さん、今井さんは何年ぶりかの復帰で歓迎された。会長よりの挨拶に引き続き、マンネリを防ぐ意味で司会と書記（記録担当）とを交替制にしようとの会長提案が世話役会で認められ、さっそく関氏が司会を書記を合原氏が担当し例会が進行した。

<上映作品（ビデオのみ）>

1. 「雪の余呉湖」 今井 義美氏 7分15秒 ソニーベルト-1000

今月初め、仲間と共に車で日帰り撮影に余呉へ行かれた。雪は深く道路から畠や脇道に一歩入ると、足がスッポリとはまり込むほどの積雪だったとか。上映後編集について意見続出。何でも折角のデジタルカメラからHi8へ一旦ダビングしてソースとし、それをS-VHSへ落として編集し音声はノーマルトラックヘアフレコ録音して作品にした、ということ。デジタルをHi8にダビングすれば、折角のデジタルの良さが消えるのでは、との意見があった。デジタルから直接S-VHSの上で編集すればもっと画面がきれいになる、とは有村氏の助言。それにしても早くデジタルの編集ビデオデッキが出てほしいものだ。

2. 「秋・上高地」 前田 茂夫氏 10分14秒 ソニーベルト-2000

夜行バスを利用した日帰りツアーで、撮影は午前中だけしかできなかつた由。それにしても秋晴れの良い天気に恵まれて、穂高の山や上高地の秋色は素晴らしいかった。コンピュータ・ミュージックによるBGM演奏も作者自身によるもので、ムードを盛り立てていた。10分は少し長かったようだ。

3. 「八尾まつり」 花岡 汪氏 8分 ソニーベルト-2000

YAOビデオコンテスト審査員特別賞授賞作品。たいそう賑やかに踊りまくる河内音頭祭である。昼から夜まで続くらしい。徳島の阿波踊りのように将来世間に知られる祭に発展していくかも知れない。とにかく楽しい作品である。夜の場面は8ミリフィルムではとても扱えないシーンだけに暗さに強いビデオの威力がいかんなく發揮されている。

こういう作品をドキュメント的に纏めようとすれば、特定の人を主役に据え、練習風景や日常生活ぶりなどを経て、最後に晴舞台としての八尾祭参加へとストーリーを開拓すれば……と、ふと考えてみた。

4. 「厳寒のころ」 有村 博 5分 ソニ-VX1000

この作品を制作するために酷寒の赤目四十八滝へ奥さんと撮影に行かれたが、途中で奥さんが転ばれて足を骨折し、伊賀上野の病院へ緊急入院されたという、いわくつきの作品とあって、作者や奥さんがこれを見る度に色々と複雑な思いにかられるに違いない。映像の方はデジタルカメラによるシャープで色のにじみのない素晴らしい画調で、あらためてデジタルカメラの良さを再認識した。デジタルズームの倍率20倍までのカットも含まれていたとのことだが気がつかなかった。

5. 「瀬戸・笠岡ぶらり旅」 合原 一夫 14分50秒 ソニ-VX-1

玄光社『小型映画』誌時代にCFCクラブが全国的に作られ、OMCもその8番目の登録番号を持つクラブとして全国にクラブ便りを流していたことがあった。そのときの全国の有志でCFCサロンが設けられて、年1回の全国撮影会が現在も毎年行われている。昨年は備前岡山であった（今年は和歌山が当番役）。後援は岡山県観光協会などで、コンテストが行われたが、本作品は「岡山県観光協会会長賞」を授賞したものである。企画段階でかなり観光ビデオを意識して作ったので、一般の人には少々歯の浮くようないいものづくりの感がないでもない。それにも瀬戸内の小さな島には被写体があちこちに転がっていそうだ、との感じであった。

今月の出席者：有村、今井、江村、岡本、合原、越本、関、花岡、田中、前田、山形、森の各氏（以上12名）

☆春の撮影会は「長良川」一泊で！

恒例の春の撮影会、昨年は田原町のけんか廻を一泊で撮影に行きましたが、今年は上総さんのお世話で「長良川」の鵜飼と、社会問題化している「堰」をテーマにした一泊撮影会を企画しております。特に「堰」は個人で行つてもなかなか撮影出来そうもないところにも行けそう、とのことで作品の企画次第では良い作品に仕上がる期待もあります。

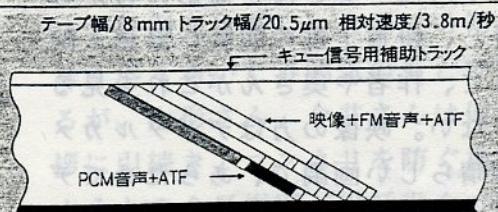
- ・日 時 平成8年6月1日(土)～2日(日) 出発時間は後日決定
- ・場 所 長良川一帯(車で移動)
- ・会 費 車代負担分共およそ3万円程度を予定
- ・申 返 3月例会にて(人数を確認したいので)会長まで

会員諸氏の積極的なご参加をお願いいたします。

DVテープに高密度記録ができる

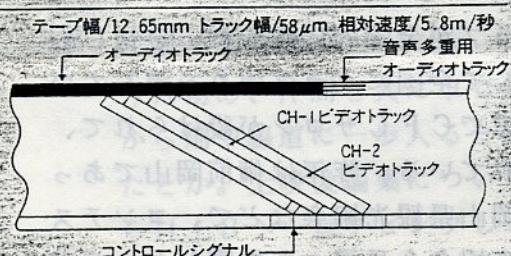
アナログ

8ミリ方式



8ミリ方式では、FM音声の場合は映像と音声の周波数を合成して同じトラック内に記録する周波数多重記録になっている。オプション規格でPCM音声とデータコードを記録するエリアがあるものではアフレコできる。

VHS方式

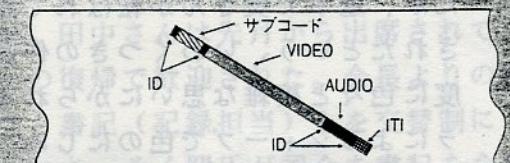


VHS方式では、同じエリアに映像とハイファイ音声が記録されている。先に音声、次に映像が別々のヘッドでテープに記録する。音声は深層記録、映像は表層記録と分離しているが、どちらか一方を消したりは出来ない。

デジタル

DV方式

テープ幅/6.35mm トラック幅/10μm 相対速度/9.9m/秒



デジタルがアナログと最も違うのは、映像(VIDEO)、音声(AUDIO)情報(サブコード、ID、ITI)がそれぞれ個別に独立したエリアに記録されていること。だから、映像だけのインサートも可能だ。

音声記録

DVの音声記録は方式は4種類あってメーカーがカメラやデッキの製造時に選択しているので、音声にこだわる人はカタログで確認する必要がある。

サンプリング周波数	ch
1 48kHz	2
2 44.1kHz	
3 32kHz	
4 32kHz	4

— CH-1 — CH-2 —
— (フレーム)
— (10トラック)

DVの音声的メリットは映像と別になっているので、後から手を加えたりできること。

画と音はどう記録されているのか

高密度記録の秘密

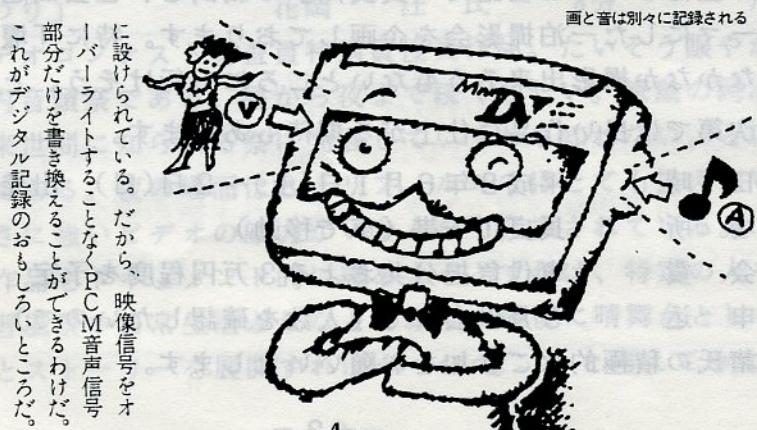
これまでのアナログビデオもデジタルビデオもDVでも、回転ヘッドに取り付けられた2つのヘッドで記録する、いわゆるヘリカルスキヤンという方式が採用されている。だから、記録の仕組みは変わらないのだが、テープ上の記録パターンは大きく異なるっている。

まず、アナログビデオでは2本のトラックで1フレームを構成するのに対し、DVでは10本(NTSCの場合、PALでは12本、ハイビジョンでは20本になる)のトラックで1フレームを構成する。つまり5倍のトラック数になる。だから、アナログビデオではドラム回転数が1800回転なのに対して、DVでは5倍の9000回転になっているわけだ。

記録エリアが分かれれるメリット

また、デジタルビデオの記録パターンでは、信号の種類によって記録エリアがきちんと決められているというのも異なる点だろう。たとえばVHSの場合、ハイファイ音声は深層記録なので、映像と音声は同じトラック上に記録される。また8ミリビデオのAFM音声の場合は周波数多重記録なので、映像信号と音声信号が合成されて同じトラック上に記録される。だから、どちらアフレコできない。

ところがフォーマット的にVHSよりも規格化された8ミリビデオでは、PCM音声とデータコードを記録するエリアが別



に設けられている。だから、映像信号をオーバーライドすることなくPCM音声信号部分だけを書き換えることができるわけだ。これがデジタル記録のおもしろいところだ。

また、映像と音声が別々に記録されれば、これまでは難しかった映像だけのインサートも可能になるし、ハード側の対応次第でVOS(ビデオ・オン・サウンド)もできる。このようにDVは機能面で大幅な進化をしたといえるだろう。